

現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市立西幼稚園園舎・西放課後児童クラブ教室棟外壁改修工事

1 現場の状況

工事場所は、福山市西町一丁目 14 番 17 号に位置し、東側は福山市道御幸地吹幹線、南側は福山市道西町 25 号線に接しています。

工事建物は福山市立西小学校敷地内の南棟校舎及び中棟校舎で、南棟校舎 1、2 階が西幼稚園園舎、中棟校舎 1、2 階が西放課後児童クラブ教室棟です。

工事期間中、2025 年 7 月 19 日（土）から 8 月 24 日（日）は夏休み、2025 年 12 月 24 日（水）から 2026 年 1 月 6 日（火）は冬休みです。西幼稚園は夏休み期間中も預かり保育として土曜日、日曜日、祝日を除き園舎を使用します。なお、土曜日、日曜日、祝日を含めて、児童・園児が登校・登園しない日も校舎、屋内運動場、グラウンド等は使用することがあります。

2 別途工事

冷暖房設備改修工事

3 留意事項

- (1) 工事に当たっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事期間中も学校施設を使用しているため、工事関係者はもとより、職員、児童及び第三者への安全確保に必要な対策を講じてください。
- (3) 工事車両等の進入・退出・停車等に当たっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
- (4) 資材の搬入、搬出時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。
- (5) 道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路に係る維持管理（舗装・構造物等の保護養生、補修等）は、受注者で行ってください。
- (6) 工事場所外においても、駐車違反、速度制限、積載制限等交通法規を遵守し、事故防止に万全を期してください。
- (7) 工事に係る留意事項は、協力業者、資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (8) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。
- (9) 工事範囲内において工事用進入路確保のために行う鉄板敷き等の必要な措置は、受注者で行ってください。

また、仮囲い等については、設計図書等を基に確実にを行い、工事途上で屋外工事等のために仮囲い等の移設又は一時撤去復旧が必要となった場合は、関連工事と十分な調整を行い、必要に応じて可動フェンス（H=1.8m）等により工事範

囲の明示と安全の確保を行ってください。

- (10) 本工事場所の進入口及び通路は、施設使用に際し工事期間中も確保する必要があるため、各入口や通路の通行と安全の確保を行ってください。
- (11) 現場着手日及び工事関係車両の駐車場の計画は、あらかじめ施設管理者と協議の上、決定してください。
また、工事用車両は、通学時間帯は避けて出入りしてください。なお、本工事場所の南側道路及び西側道路は、7:30 から 8:30 は土曜日、日曜日、祝日を除き、車両の通行が規制されています。
- (12) 工事期間中であっても、室内換気や空調設備が使用できるように必要な対策を講じてください。
- (13) 夏休み期間中に予定する個人懇談会や登校日等の学校行事では、当日の作業内容について、あらかじめ施設管理者と協議が必要です。
- (14) 受注者は、地域行事の運営等を円滑に行えるよう、地域との調整に努めてください。
- (15) 8 月 25 日（月）から 2 学期が開始するため、それまでに西放課後児童クラブ教室棟の西面及び、渡り廊下部分、西幼稚園園舎 1 階玄関部分に係る工事は完了させ、使用可能な状態にしてください。
また、北棟校舎へ夏休み期間中移転する放課後児童クラブの児童利用経路等に支障がないよう、必要な対策をお願いします。
- (16) 学校運営等で校舎等の使用状況により、施工方法や内容に変更が生じる場合があります。
- (17) 工事着手後、速やかに外壁劣化数量調査を行い、調査報告書を提出の上、監督員の承諾を得て改修工事に着手してください。
- (18) 実施工程表は、契約後 1 4 日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工関係書についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (19) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (20) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (21) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理してください。
- (22) 工事施工に必要な官公署への手続は、受注者の責任において速やかに行い、手続を行った場合は、速やかに報告してください。
- (23) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (24) 受注者は、各種工事の職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。

福山市立西幼稚園園舎・西放課後児童クラブ教室棟外壁改修工事

図 面 リ ス ト	
図面番号	図 名
1	図面リスト
2	外壁改修工事特記仕様書 No.1-1
3	外壁改修工事特記仕様書 No.1-2
4	外壁改修工事特記仕様書 No.2
5	外壁改修工事特記仕様書 No.3
6	仮設工事特記仕様書・付近見取図・配置図
7	1階平面図
8	2階平面図
9	3階平面図
10	R階平面図
11	立面図
12	矩計図・部分詳細図・F工法詳細図（西幼稚園園舎）
13	矩計図・部分詳細図（西放課後児童クラブ教室棟）

福山市建設局建築部営繕課				発注 2025年 4月	
主務	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長

⑦

①

事前調査
＜1.4.1＞

2

石綿粉じん濃度測定
＜6.1.3＞

③

除去工事共通事項
＜6.2.1～6.2.9＞

4

石綿含有吹付け材
の除去
＜6.3.1～6.3.4＞

5

石綿含有保温材等
の除去
＜6.4.1～6.4.4＞

⑤

石綿含有成形板等
の除去
＜6.5.1～6.5.4＞

7

石綿含有仕上塗材
（下地調整塗材
含む）の除去

⑤養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、4 2）⑤により処理を行う。
⑥後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃をする。

1）処理を行う石綿含有保温材等の仕様及び部位
・ 下記による ※ 図面による

石綿含有保温材等の仕様	使 用 部 位
・	・
・	・
・	・
・	・

2）養生等
①石綿含有保温材等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて隔離養生（負担不要）を行う。
②作業場の隔離（ ・ 行う ※ 行わない ）
石綿含有保温材等の除去にあたり、掻き落とし・破砕・切断による方法の場合は、作業場の隔離を行うこと。
3）作業場の隔離を行う場合は、4 2）を適用する。
除去工法
※ 粉じん飛散抑制剤により湿潤化した後に手ばらし ・ 石綿含有吹き付け材の除去による除去物の処理（ ※ 密封処理（二重袋梱包） ・ セメント固化 ）
4）除去した石綿等の保管、運搬、処分等
4 4） 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。
5）確認及び後片付け
①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。
②確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。
③養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。また、石綿の付着が考えられる場合には、必要に応じて粉じん飛散抑制剤又は粉じん飛散処理剤を散布する。

1）処理を行う石綿含有成形板等の仕様及び部位
・ 下記による ※ 図面による

石綿含有成形板等の仕様	使 用 部 位
①シーリング	①建具周囲
・	・
・	・
・	・

2）養生等
石綿含有成形板等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生を行う。
3）除去工法
①原則、手ばらしで行う。やむを得ず切断、破壊等しなければならない場合は、常時湿潤化した状態で作業を行う。ただし、石綿を含有するけい酸カルシウム板第一種は、養生シート等で作業場所の隔離養生（負担不要）を行う。
②除去した石綿含有成形板等の集積及び積込みに当たっては、高所より落下しないことその他、粉じんの飛散防止に努める。
③破砕された石綿含有成形板等は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。
4）除去した石綿等の保管、運搬、処分等
①処分は原形のままとし、処分先は監督員の指示による。
・ 石綿含有石こうボード
※ 埋立処分（管理型最終処分場）
・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等
・ 埋立処分（安定型最終処分場） ・ 中間処理（溶融施設）
なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。
②除去した石綿含有成形板等を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物とを分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、石綿等の保管場所であることの表示を行う。
③石綿含有成形板等の運搬に当たっては、運搬車輛の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。
5）確認及び後片付け
①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。
②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。

1）処理を行う石綿含有仕上塗材（下地調整塗材含む）の仕様及び部位
・ 下記による ※ 図面による

石綿含有仕上塗材の仕様	使 用 部 位
・	・
・	・
・	・
・	・

2）養生等
電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて隔離養生（負担不要）を行う。
3）除去工法（ 施工場所 ： ※ 図示 ・ ）
①石綿含有仕上塗材の除去は、高圧水洗工法や剥離剤を用いる工法等により、湿潤化した状態で行う。
②電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、除去する石綿含有仕上塗材を常時湿潤化した状態で作業を行う。なお、湿潤化が著しく困難な場合は、除じん性能を有する電動工具を使用するなど粉じんの発散を防止する。
③除去した石綿含有仕上塗材の廃棄物は、耐水性のプラスチック袋等により二重でこん包する。
4）除去した石綿等の保管、運搬、処分等
6 4） 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。
処分先については、監督員の指示による。
・ 埋立処分（ ・ 安定型最終処分場 ・ 管理型最終処分場 ）
・ 中間処理（ 溶融施設又は無害化処理施設 ）
なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。
5）確認及び後片付け
①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。
②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。

工事名称
福山市建設局建築部営繕課
福山市立西幼稚園園舎・西放課後児童クラブ教室棟外壁改修工事

図面No
3

設計
2025年 4月

図面名称
外壁改修工事特記仕様書 No.1-2

石綿含有建材の除去及び処理

福山市建設局建築部営繕課

設計

2025年 4月

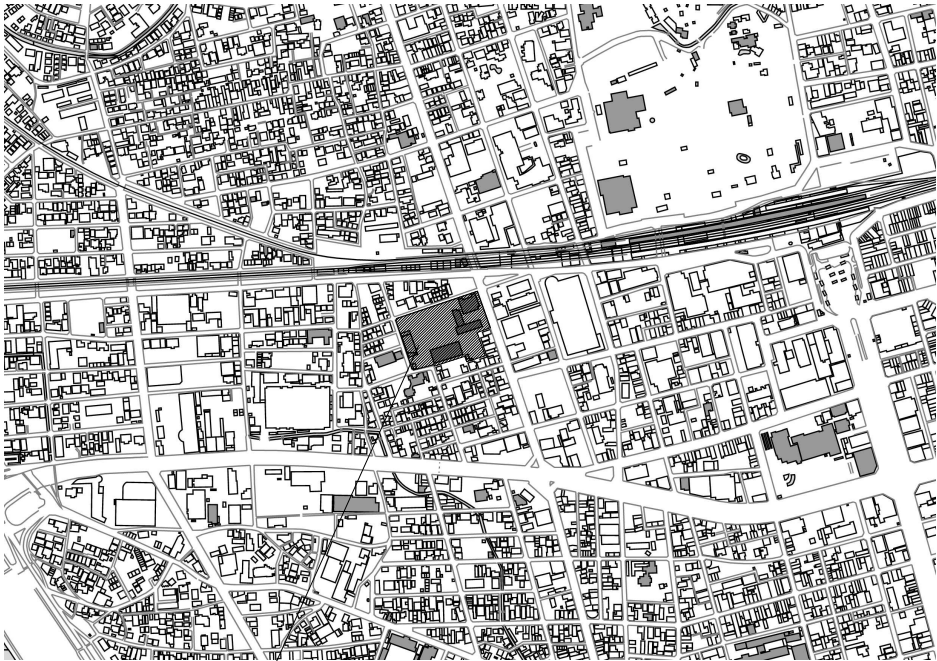
工事名称
福山市立西幼稚園園舎・西放課後児童クラブ教室棟外壁改修工事

図面名称
外壁改修工事特記仕様書 No.1-2

図面No
3

仮設工事特記仕様書

- ① 工事車両出入り口・機器・資材搬入口は東出入口及び南出入口とする。
- ② 工事車両出入口：キャスターゲート程度とし、通行時のみ開放する。
- ③ 施工者が必要と判断した場合には出入り口前に鉄板・合板パネル等を敷いて養生する。
- ④ 改修建物の周囲にある雨水排水施設を壊さないように注意する。
(既設建物を傷めた場合には復旧する。)
- ⑤ 園児・児童の移動が集中する時間帯（登下校時等）は重機、資材の搬入を避ける。
- ⑥ 車両通行部は地均し復旧を行う。
- ⑦ 配置図に記載された仮設等については、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工に於いては事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める。
- ⑧ 仮設計画をたてる前に、学校関係者及び監督員と十分協議する。
- ⑨ 仮設計画は監督員の承諾を得る。
- ⑩ 仮設足場（先行足場、階段共）には、養生シートを張り埃等の飛散を防ぐこと。
- ⑪ 園児・児童及び第三者が、工事エリアに入れないように、1 段目には金網等を設置し、施錠付きの出入り口を設けること。
- ⑫ 昇降所等の建物出入り口には、落下防止対策を講ずること。
- ⑬ 足場解体後は、現状復旧すること。
- ⑭ エアコンは、使用できるように室外機を養生すること。
- ⑮ 外部の水洗い時及び塗料等の臭気を伴う作業の際は、開口部を十分に目張りすること。
- ⑯ 幼稚園の1階屋根上部へ仮設足場を設置する際は、屋根面を十分に養生すること。



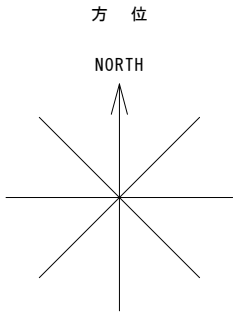
福山市西町一丁目14番17号

付近見取図 S=No Scale

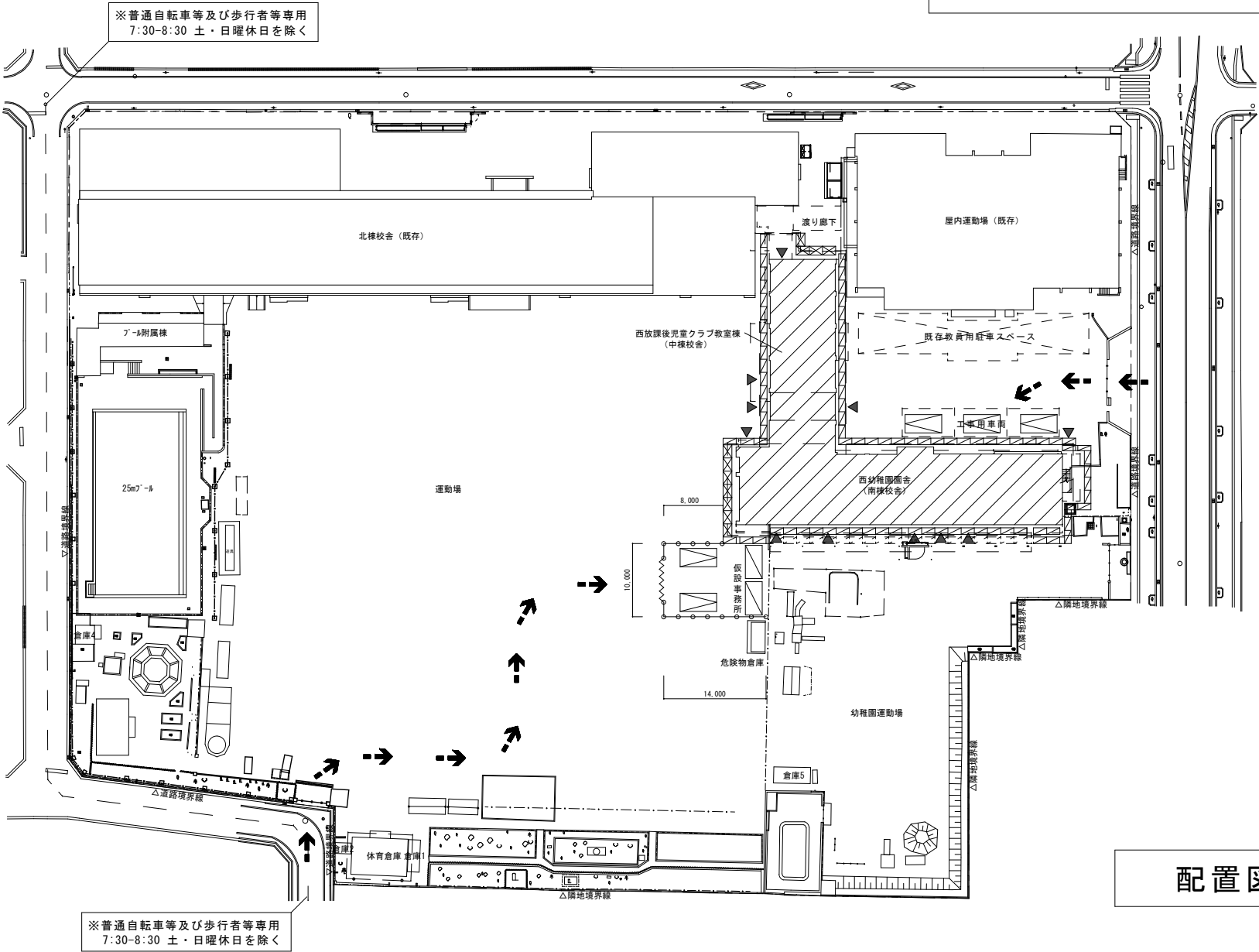
(参考) 仮設工事凡例

記 号	内 容
	改修建物
	仮囲い：成形鋼板 H=2000
	キャスターゲート W=6000 H=1800
	工事車両進入口
	仮設足場
	園児・児童出入口(足場部出入口養生)

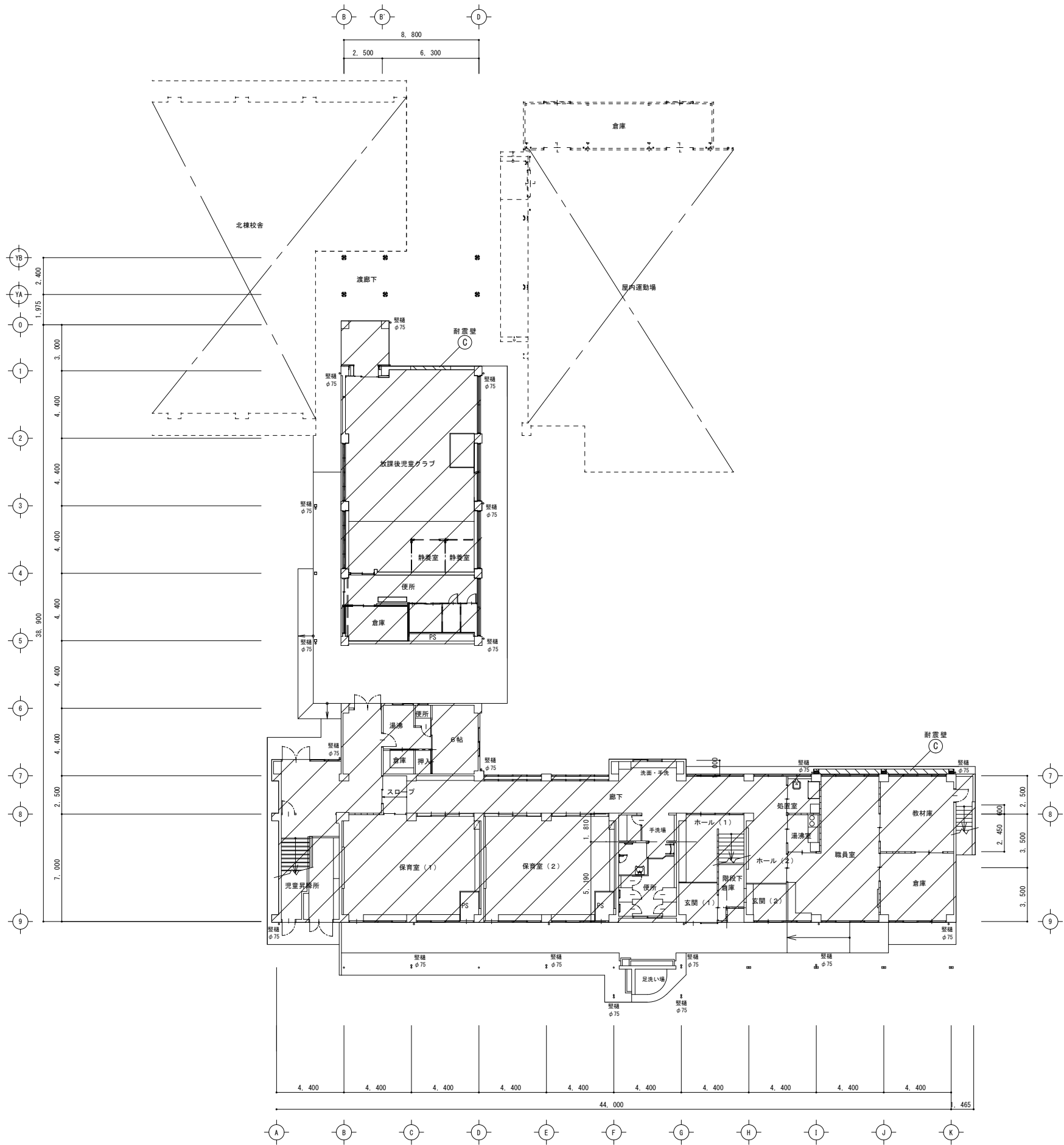
※現場事務所等は、学校と協議の上決定する。



(北に矢印を付す)

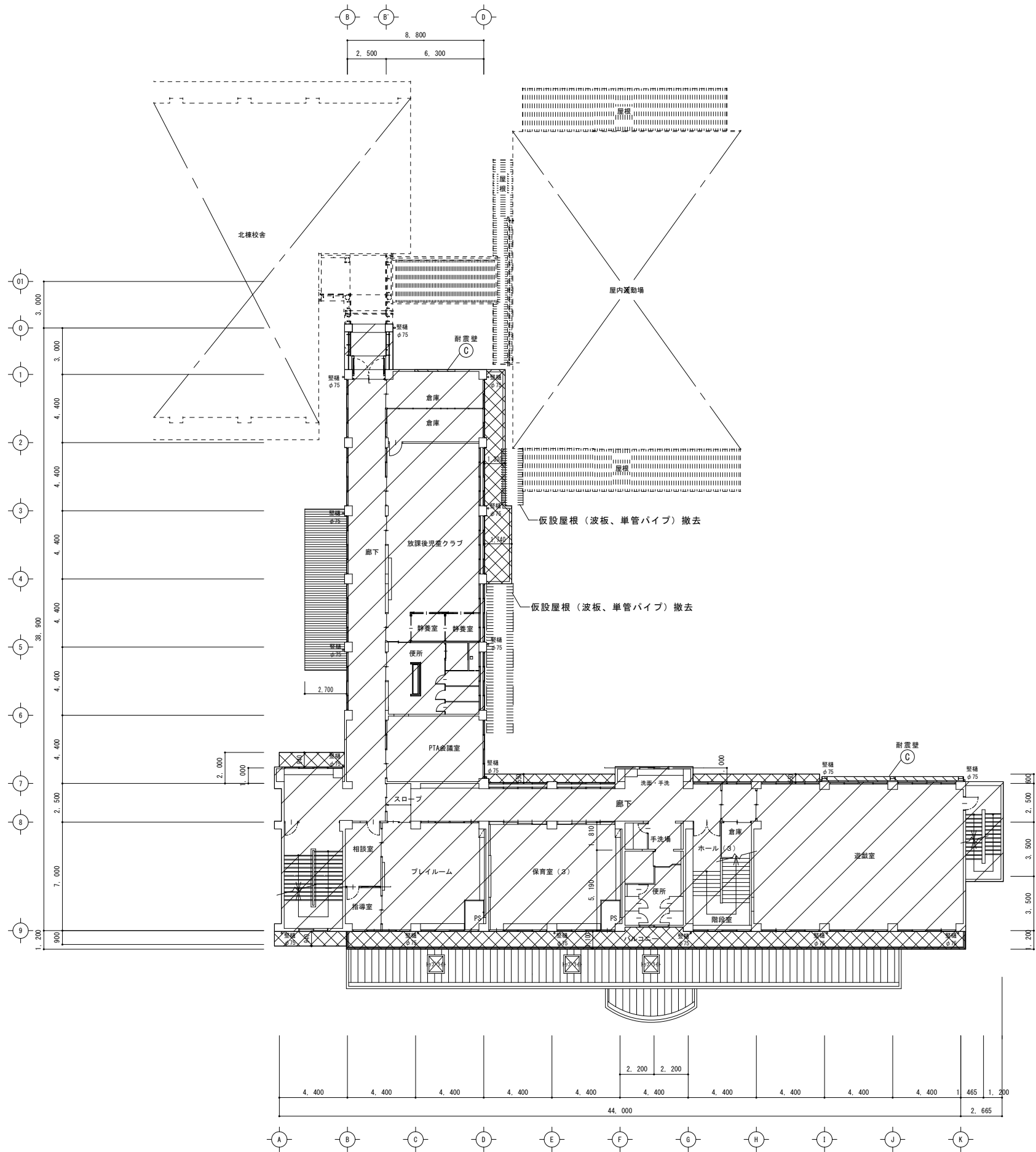


配置図 S=1/400



1階平面図 S=1/150

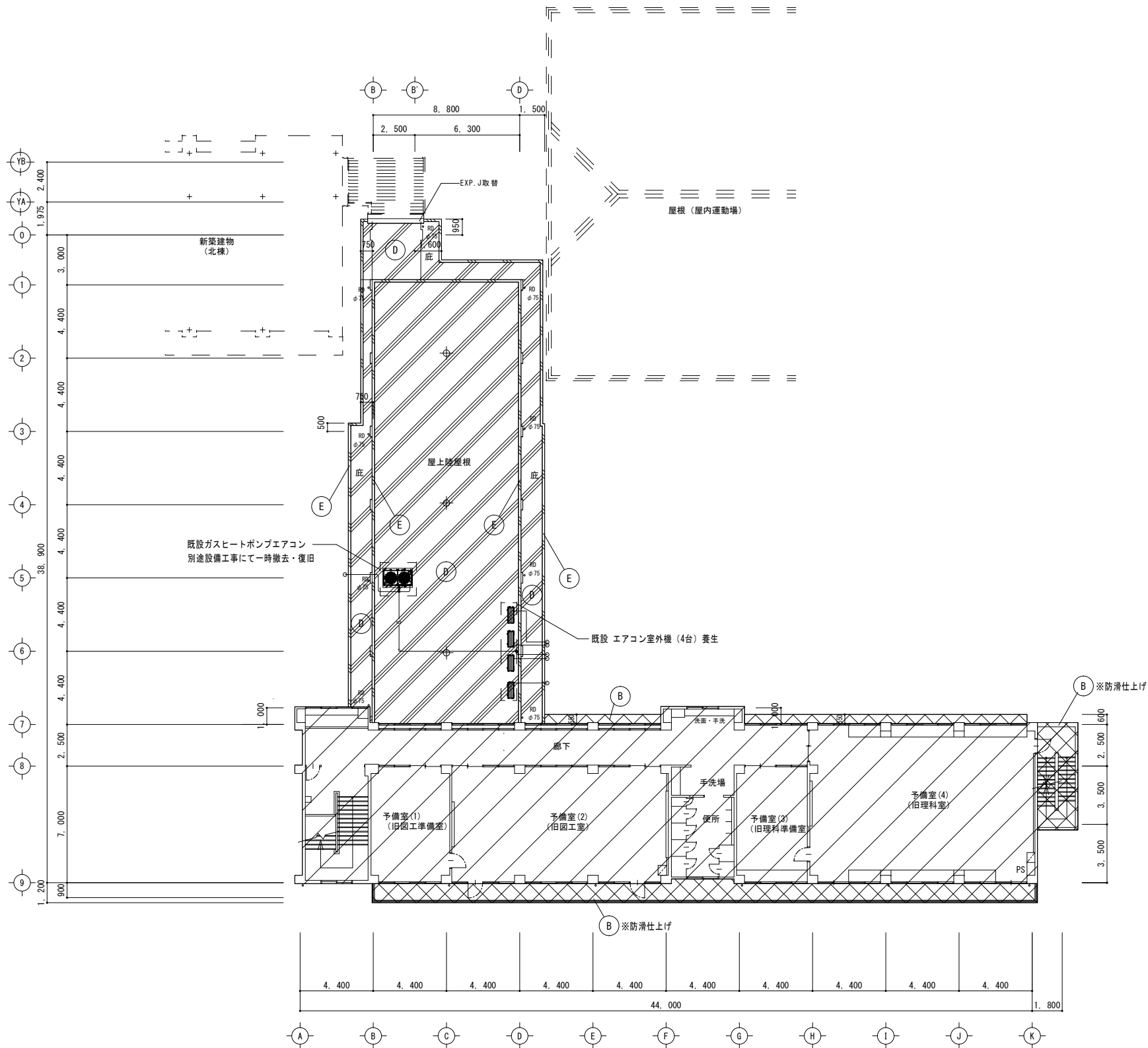
工事符号及び工事内容		改修内容
施工範囲	記号	
	外壁部 (A)	外壁劣化改修の上、複層塗材E塗り(軒裏等 外装薄塗材E吹付) (庇部、バルコニー部含む) 外部建具 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替 壁礎撤去(金具共)の上、壁礎取付カラーVP75φ(SUS金具共)
	バルコニー 小庇 屋外階段 (B)	既 存: 防水モルタルコテ押え 改修内容: 水洗い、クラック処理、下地調整(目地埋め含む)の上 ウレタン塗膜防水(X-2工法)
	耐震壁 (C)	既 存: 耐震CON壁 外装薄塗材E吹付 耐震鉄部 DP塗装 改修内容: 耐震CON壁 下地調整の上、複層塗材E塗り(トップ2回塗り) 耐震鉄部 下地調整の上、DP塗装(トップ2回塗り)
	屋上 (D)	既 存: シート防水 改修内容: 水洗い、合成高分子ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系1:1.5~1.2仕様)の固定工法)
	屋上 (E)	既 存: シート防水 改修内容: 水洗い、合成高分子ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系1:2.0~1.2仕様)の固定工法) 端部防水押え、並末部平置きアングル45×65取付(シーリング仕舞) 端部防水押え: 立上り部アルミ押え45×65取付(シーリング仕舞) (既存シート防水部分は撤去)
脱気筒		中置所: SUS防酸機取付



2階平面図 S=1/150

工事符号及び工事内容		改修内容
施工範囲	記号	
	外壁部 (A)	外壁劣化改修の上、複層塗材E塗(軒裏等 外装塗材E吹付) (庇部、バルコニー部含む) 外部建具 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替 壁礎撤去(金具共)の上、壁礎取付カラーVP75φ(SUS金具共)
	バルコニー 小庇 屋外階段 (B)	既 存: 防水モルタルコチ押え 改修内容: 水洗い、クラック処理、下地調整(目地埋め含む)の上 ウレタン塗膜防水(X-2工法)
	耐震壁 (C)	既 存: 耐震CON壁 外装薄塗材E吹付 耐震鉄部 DP塗装 改修内容: 耐震CON壁 下地調整の上、複層塗材E塗(トップ2回塗り) 耐震鉄部 下地調整の上、DP塗装(トップ2回塗り)
	屋上 (D)	既 存: シート防水 改修内容: 水洗い、合成高分子ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法)
	屋上 (E)	既 存: シート防水 改修内容: 水洗い、合成高分子ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法) 端部防水押え: 笠木部アルミアングル45×65取付(シーリング仕舞) 端部防水押え: 立上り部アルミ押え45×65取付(シーリング仕舞) (既存シート防水部分は撤去)
脱気筒		⌘箇所: SUS脱気筒取付

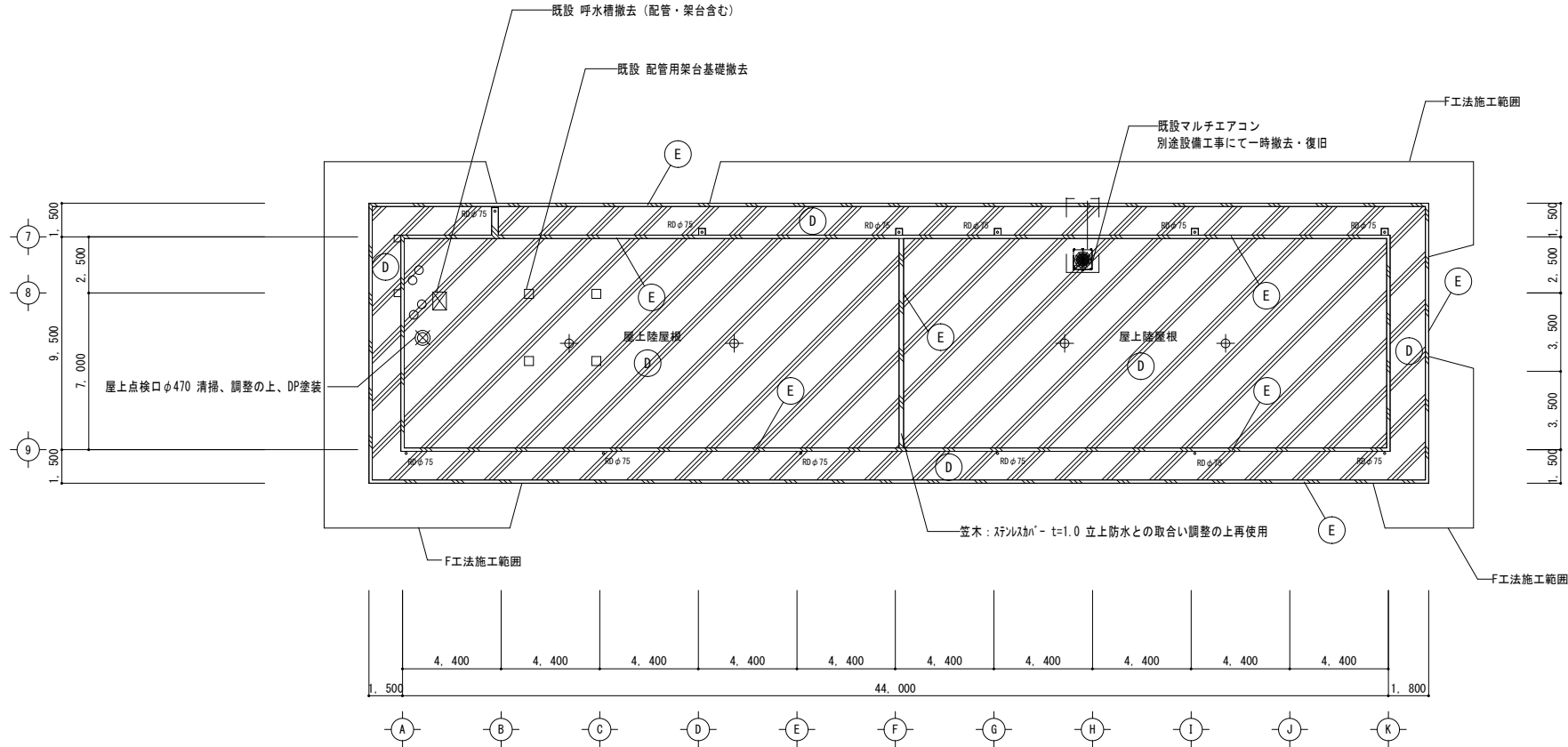
工事符号及び工事内容		改修内容
	外壁部 ①	外壁劣化改修の上、複層塗材E塗り(軒裏等 外装薄塗材E吹付) (庇部: バルコニー部含む) 外部建具 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替 壁礎撤去(金具共)の上、壁礎取付カラーVP75φ(SUS金具共) 配管及び換気口・ウェザーカバー・電気ボックス DP塗装
	バルコニー 小庇 屋外階段 ②	既 存: 防水モルタルコテ押え 改修内容: 高圧水洗浄、クラック処理、下地調整(目地埋め含む)の上 ウレタン塗膜防水(X-2工法)
	耐震壁 ③	既 存: 耐震CON壁、外装薄塗材E吹付 耐震鉄部 DP塗装 改修内容: 耐震CON壁 下地調整の上、複層塗材E塗り(トップ2回塗り) 耐震鉄部 下地調整の上、DP塗装(トップ2回塗り)
	屋上 ④	既 存: シート防水 改修内容: 高圧水洗浄、合成高分子ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法)
	屋上 ⑤	既 存: シート防水 改修内容: 高圧水洗浄、合成高分子ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法) 端部防水押え: 笠木部アルミアングル45×65取付(シーリング仕舞) 端部防水押え: 立上り部アルミ押え45×65取付(シーリング仕舞) (既存シート防水部分は撤去)
脱気筒		中箇所: SUS脱気筒取付



3階平面図 S=1/150

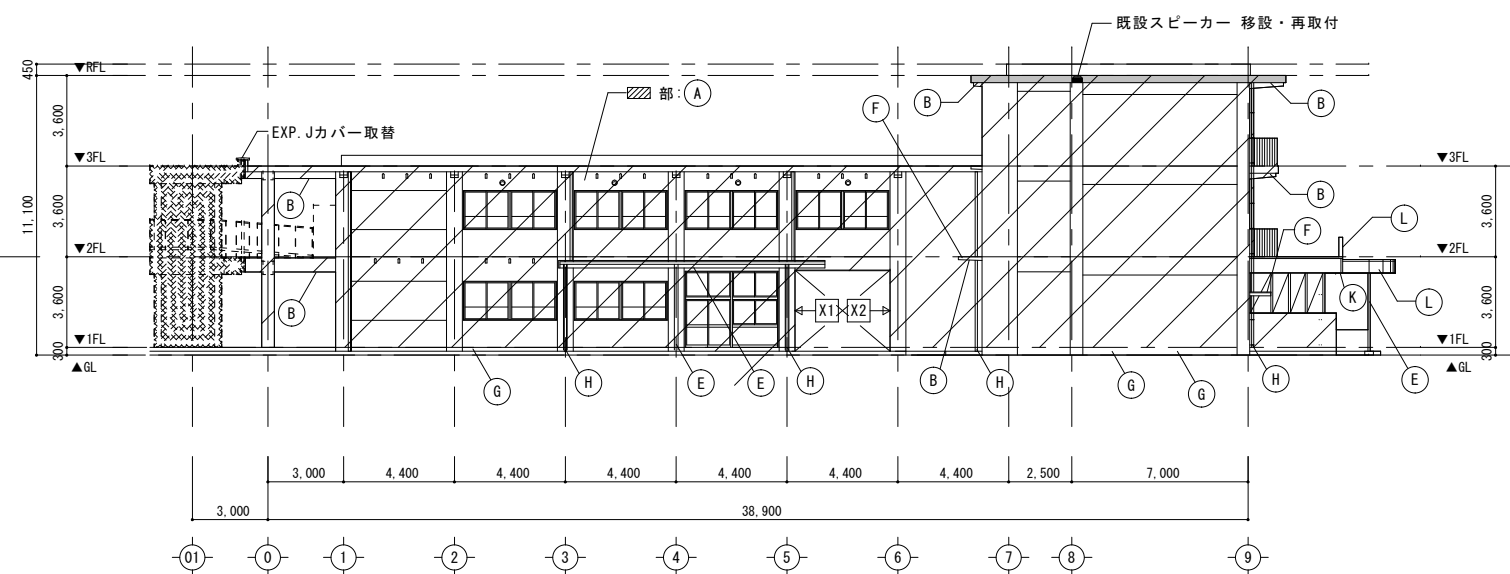
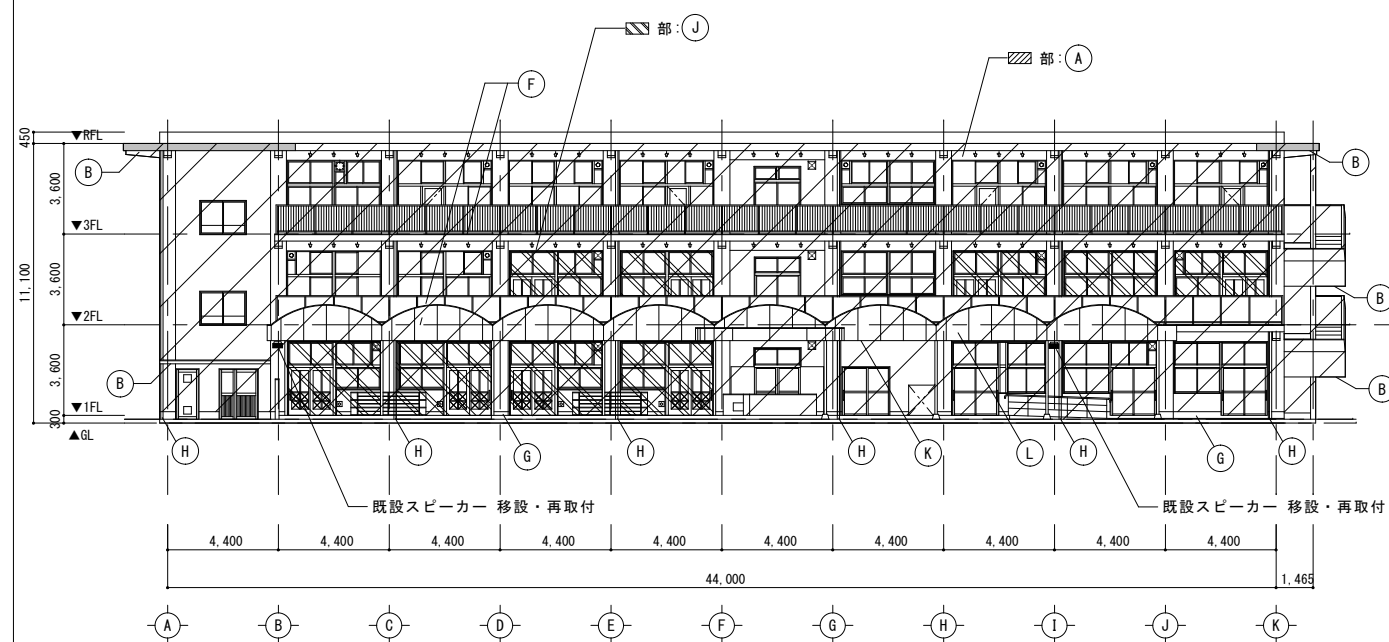
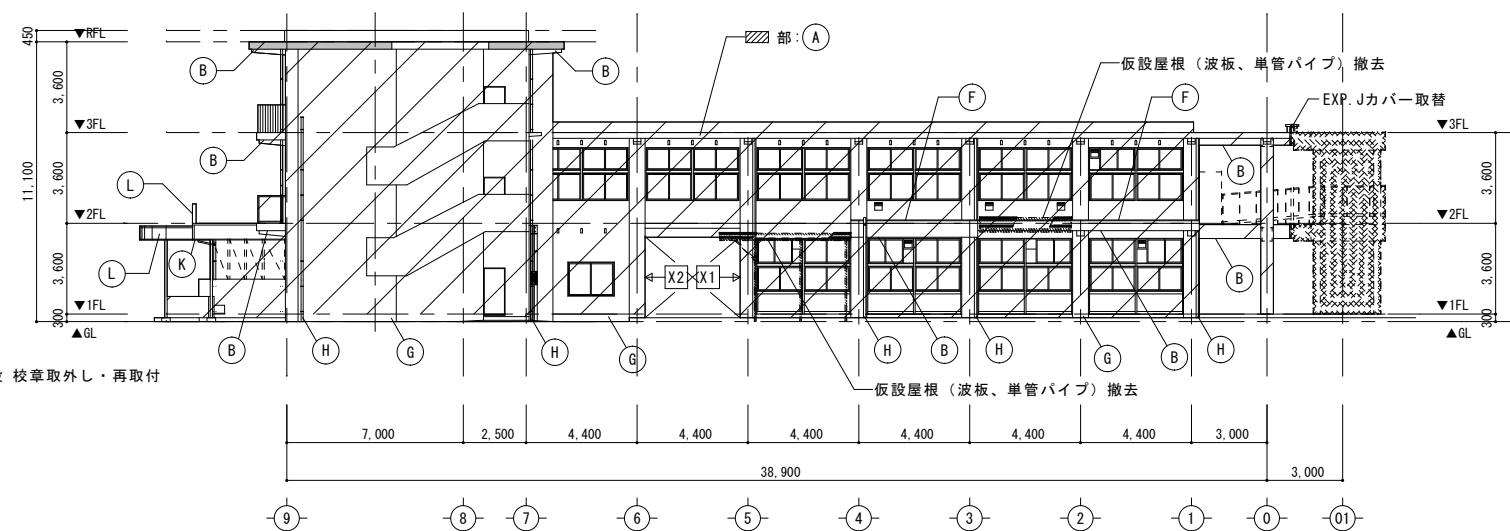
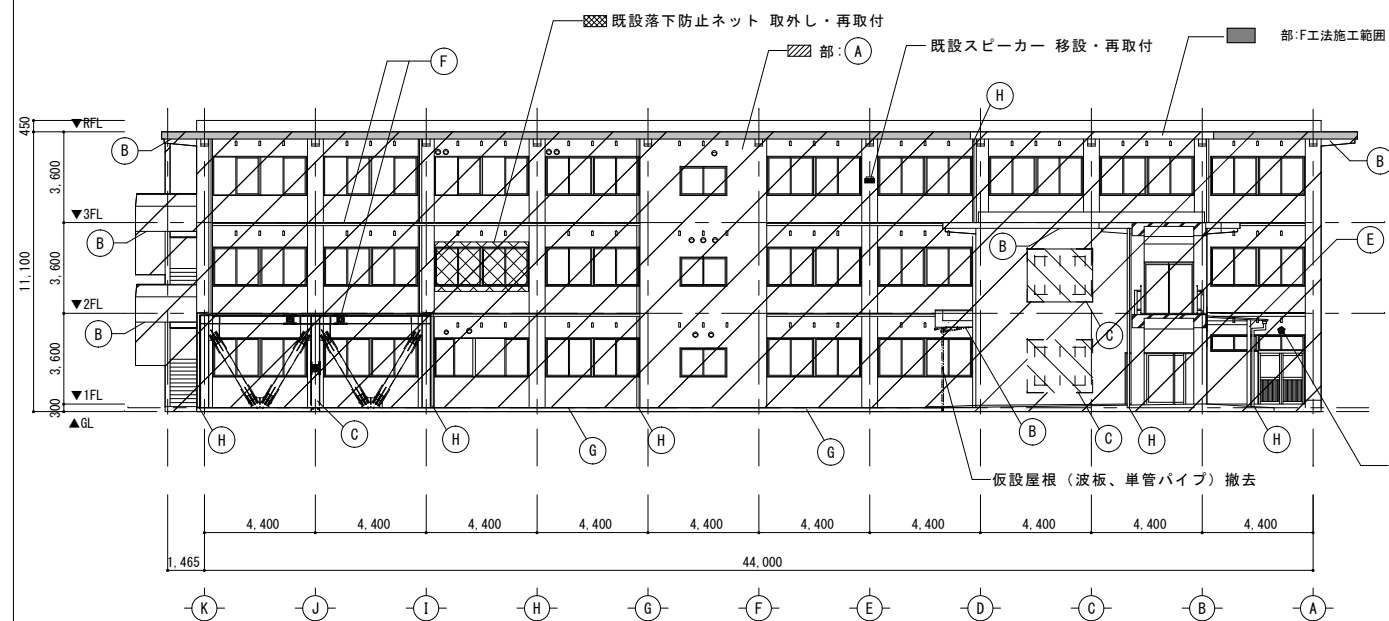
A1: 100%
A3: 50%

工事符号及び工事内容		
施工範囲	記号	改修内容
	外壁部 Ⓐ	外壁劣化改修の上、複層塗材E塗リ(軒裏等 外装薄塗材E吹付) (庇部: バルコニー部含む) 外部建具 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替 壁礎撤去(金具共)の上、壁礎取付カラーVP75φ(SUS金具共)
 ウレタン塗膜防水 (X-2工法)	バルコニー 小庇 屋外階段 Ⓑ	既 存: 防水モルタルコチ押え 改修内容: 水洗い、クラック処理、下地調整(目地埋め含む)の上 ウレタンゴム系塗膜防水(X-2工法)
	耐震壁 Ⓒ	既 存: 耐震CON壁、外装薄塗材E吹付 耐震鉄部 DP塗装 改修内容: 耐震CON壁 下地調整の上、複層塗材E塗リ(トップ2回塗り) 耐震鉄部 下地調整の上、DP塗装(トップ2回塗り)
	屋上 Ⓓ	既 存: シート防水 改修内容: 水洗い、合成高分子ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法)
	屋上 Ⓔ	既 存: シート防水 改修内容: 水洗い、合成高分子ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法) 端部防水押え: 笠木部アルミアングル45×65取付(シーリング仕舞) 端部防水押え: 立上り部アルミ押え45×65取付(シーリング仕舞) (既存シート防水部分は撤去)
脱気筒		Ⓜ箇所: SUS脱気筒取付



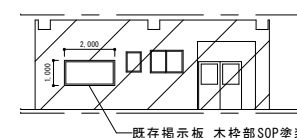
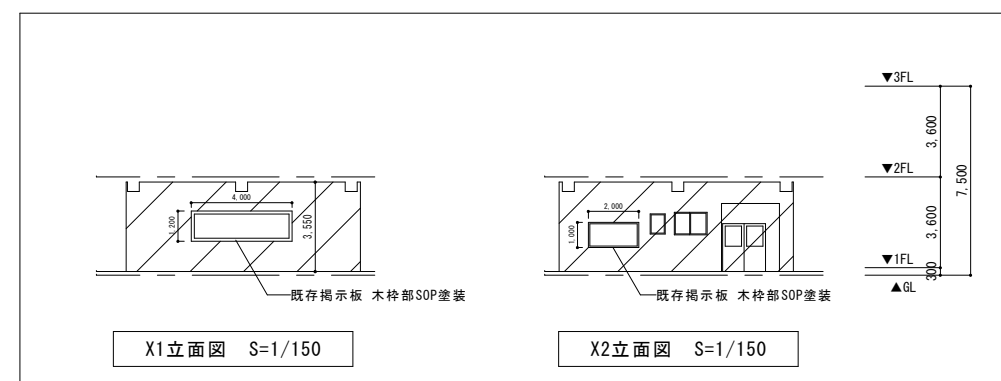
R階平面図 S=1/150

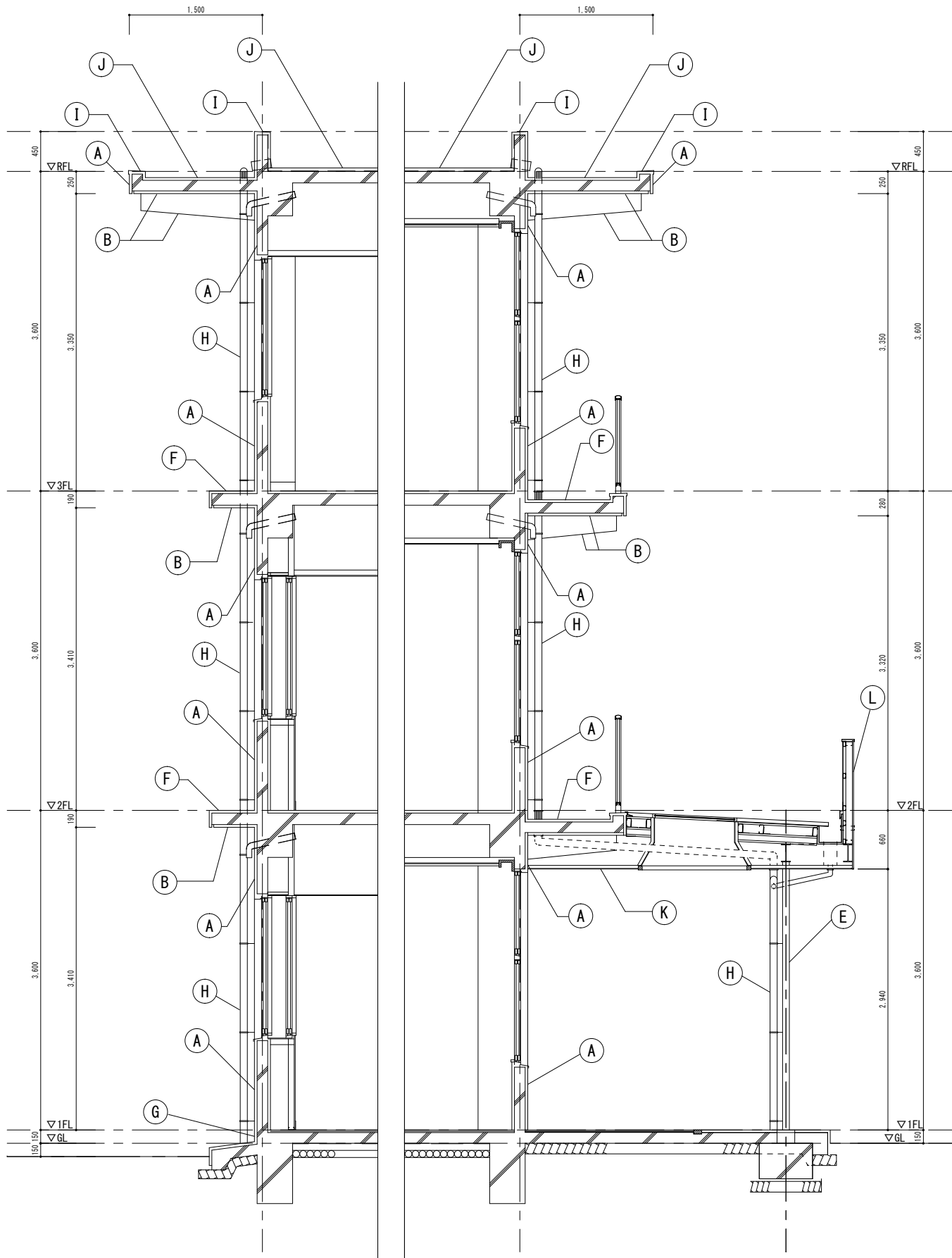
A1: 100%
A3: 50%



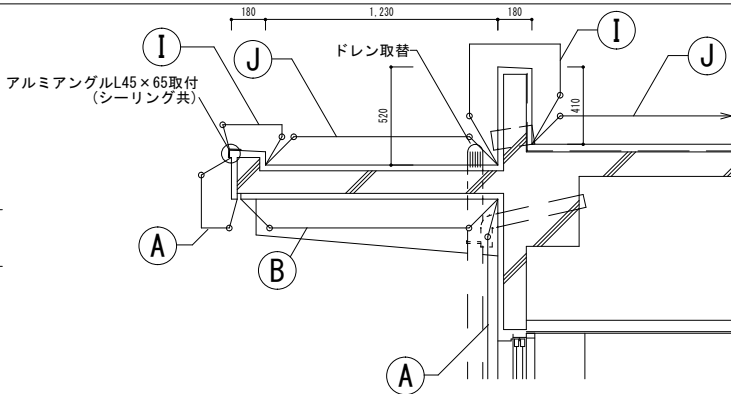
符号		仕 上 げ	符号		仕 上 げ
(A)	既存 改修	外壁:モルタル刷毛引き アクリルシン収付 水洗い、劣化改修、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り	(G)	既存 改修	巾木:モルタル金こすり入れ 既存のまま
(B)	既存 改修	軒裏:モルタル刷毛引き アクリルシン収付 水洗い、劣化改修、下地調整の上 外装薄塗材E収付	(H)	既存 改修	壁紙: VPφ75 撤去の上 カラーVPφ75取付(SUS組み金物)
(C)	既存 改修	耐震200壁:外装薄塗材E収付 耐震鉄部:DP塗装 耐震200壁:下地調整の上、複層塗材E塗り(トップ2回塗り) 耐震鉄部:下地調整の上、DP塗装(トップ2回塗り)	(I)	既存 改修	シート防水(立上り) 撤去、下地調整の上 シート防水(S-F2)
(D)	既存 改修	☆壁石積倉庫部 アクリルシン収付 外壁:水洗い、劣化改修、下地調整(G-2)の上、複層塗材Eローラー塗り 軒裏:水洗い、劣化改修、下地調整(G-2)の上、外装薄塗材E収付	(J)	既存 改修	シート防水(平場) 清掃、損傷・はくり・浮き部補修の上、シート防水(S-W2)
(E)	既存 改修	鉄部:塗装仕上げ 下地調整の上、耐候性塗料(DP)塗り	(K)	既存 改修	天井: けい酸カルシウム板t=6 清掃の上、EP-6塗装
(F)	既存 改修	防水も外塗り 水洗い、下地調整の上 ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)	(L)	既存 改修	外壁: 防火サイディングt=12 清掃の上、SOP塗装

共通事項
 外装薄塗材E：水洗い(15MPa程度)、劣化部改修・下地調整(C-1)
 複層塗材Fローラー塗り：高圧水洗浄(15MPa程度)、劣化部改修・下地調整(C-1)
 外部建具：変成シリコン系シーリング(MS-2)打替

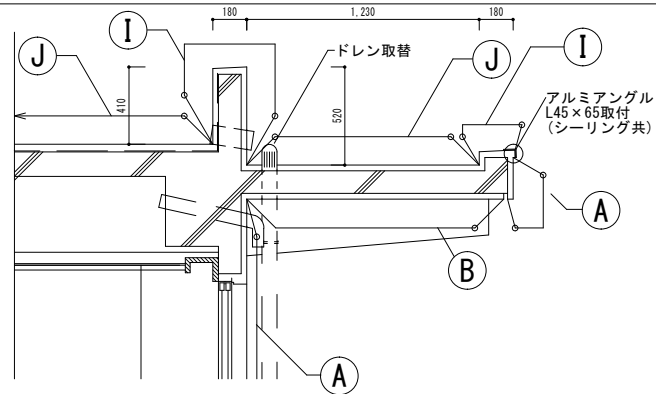




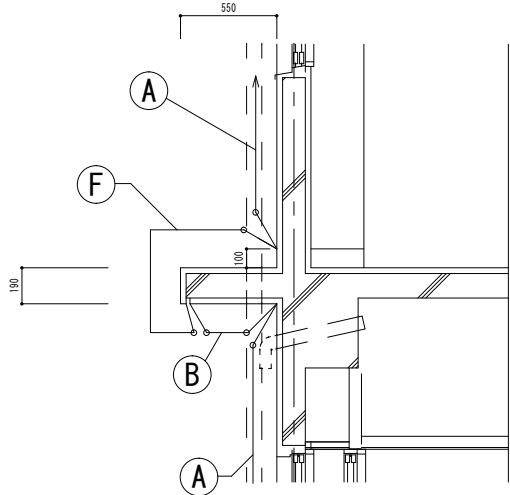
矩計図 S=1/30



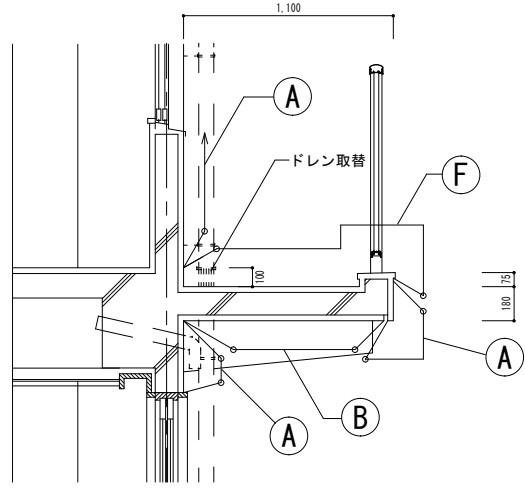
北側大底詳細図 S=1/20



南側大底詳細図 S=1/20



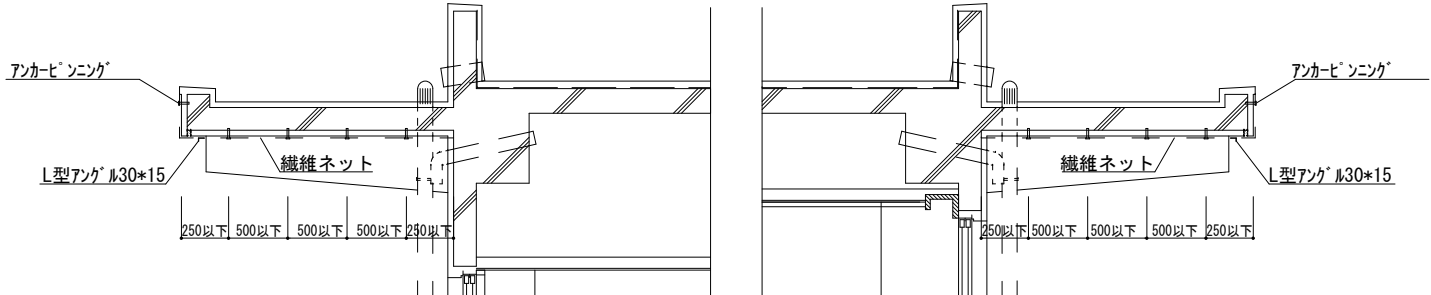
北側小底詳細図 S=1/20



南側小底詳細図 S=1/20

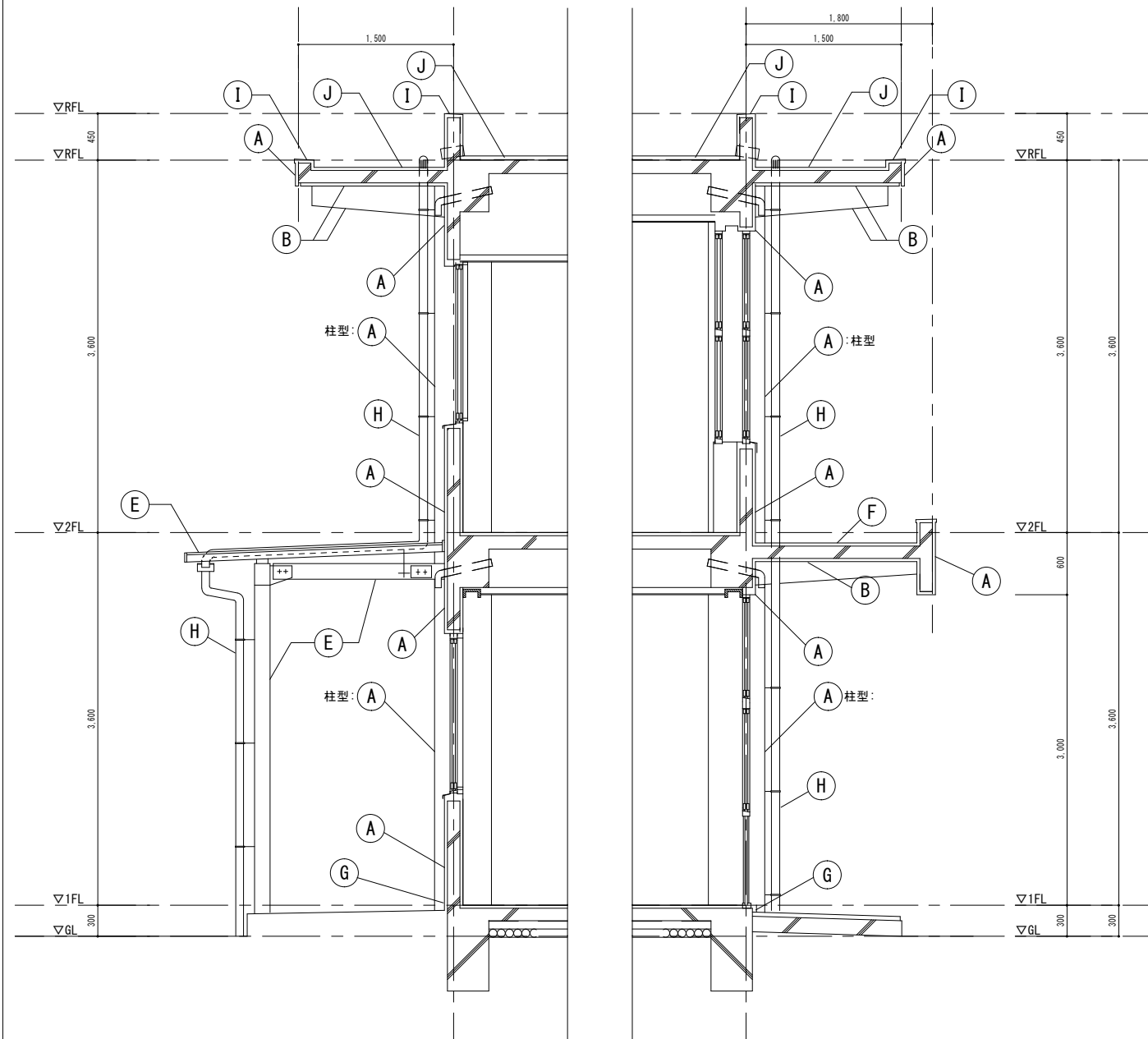
符号	仕上げ
A	既存 外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付
	改修 水洗い、劣化改修、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り
B	既存 軒裏:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付
	改修 水洗い、劣化改修、下地調整の上 外装薄塗材E吹付
C	既存 耐震CON壁:外装薄塗材E吹付
	耐震鉄部:DP塗装
	改修 耐震CON壁:下地調整の上、複層塗材E塗り(トップ2回塗り)
D	既存 耐震鉄部:下地調整の上、DP塗装(トップ2回塗り)
	既存 外壁石綿含有部 アクリルリシン吹付
E	改修 外壁:水洗い、劣化改修、下地調整(C-2)の上、複層塗材Eローラー塗り
	軒裏:水洗い、劣化改修、下地調整(C-2)の上、外装薄塗材E吹付
F	既存 鉄部:塗装仕上げ
	改修 下地調整の上、耐候性塗料(DP)塗り
G	既存 防水モルタル塗り
	改修 水洗い、下地調整の上 ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)

符号	仕上げ
G	既存 巾木:モルタル金コテ押え
	改修 既存のまま
H	既存 縦樋: VPφ75
	改修 撤去の上 カラーVPφ75取付(SUS掴み金物共)
I	既存 シート防水(溝部)
	改修 撤去、下地調整の上 シート防水(S-F2)
J	既存 シート防水(平場)
	改修 清掃、損傷・はくり・浮き部補修の上、シート防水(S-M2)
K	既存 天井: けい酸カルシウム板t=6
	改修 清掃の上、EP-G塗装
L	既存 外壁: 防火サイディングt=12
	改修 水洗い、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り

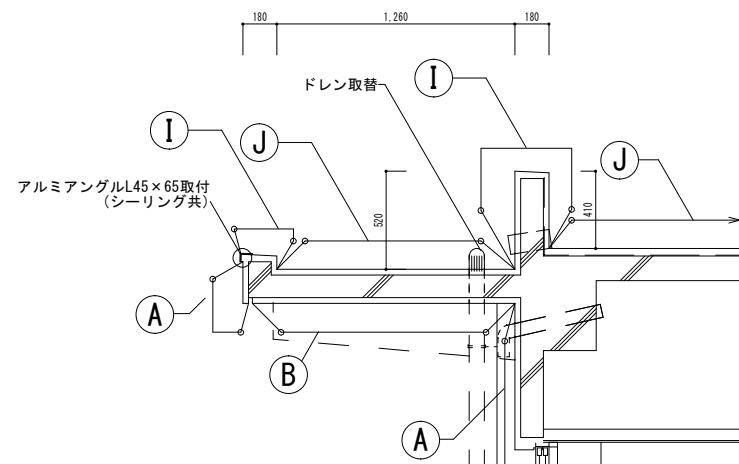


F工法詳細図 S=1/20

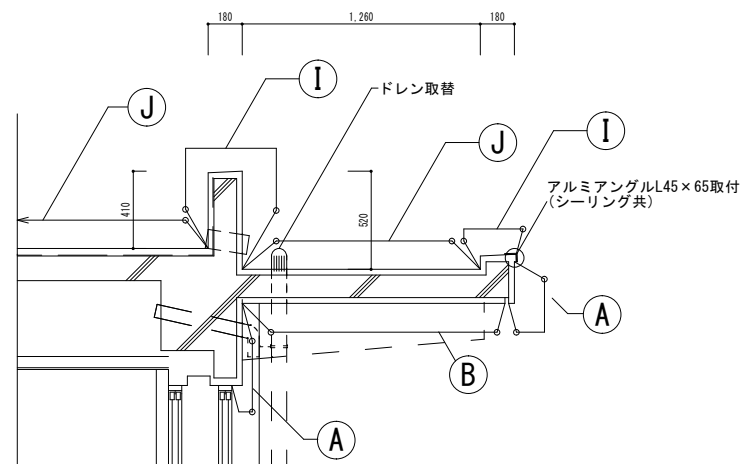
A1: 100%
A3: 50%



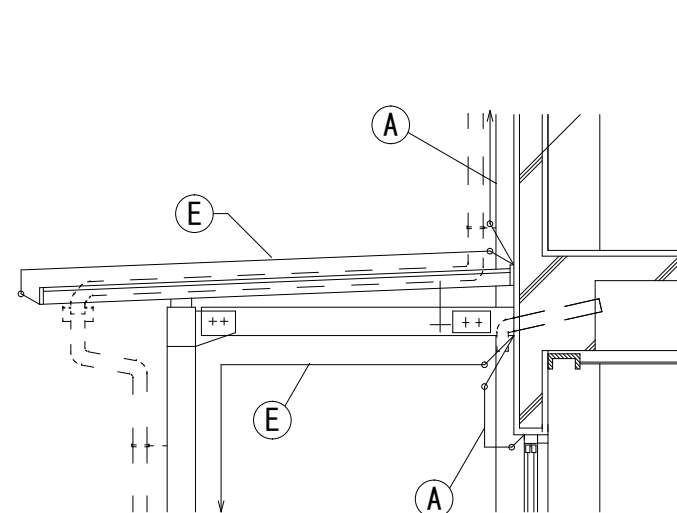
矩計図 S=1/30



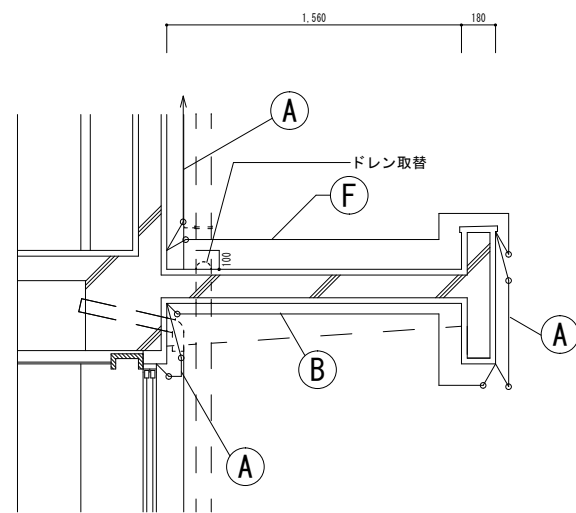
南側大庇詳細図 S=1/20



北側大庇詳細図 S=1/20



南側下屋詳細図 S=1/20



北側小庇詳細図 S=1/20

符号		仕上げ	符号		仕上げ
Ⓐ	既存	外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	Ⓔ	既存	巾木:モルタル金コテ押え
	改修	水洗い、劣化改修、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り	Ⓕ	改修	既存のまま
Ⓑ	既存	軒裏:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	Ⓖ	既存	縦樋: VP φ75
	改修	水洗い、劣化改修、下地調整の上 外装薄塗材E吹付		改修	撤去の上 カラーVP75取付(SUS掴み金物共)
Ⓒ	既存	耐震CON壁:外装薄塗材E吹付	Ⓖ	既存	シート防水(立上り)
	改修	耐震鉄部:DP塗装		改修	撤去、下地調整の上 シート防水(S-F2)
Ⓓ	既存	耐震CON壁:下地調整の上、複層塗材E塗り(トップ2回塗り)	Ⓙ	既存	シート防水(平場)
	改修	耐震鉄部:下地調整の上、DP塗装(トップ2回塗り)		改修	清掃、損傷・はくり・浮き部補修の上、シート防水(S-M2)
Ⓔ	既存	外壁石綿含有部 アクリルリシン吹付	Ⓚ	既存	天井: けい酸カルシウム板t=6
	改修	外壁:水洗い、劣化改修、下地調整(C-2)の上、複層塗材Eローラー塗り		改修	清掃の上、EP-G塗装
Ⓕ	既存	軒裏:水洗い、劣化改修、下地調整(C-2)の上、外装薄塗材E吹付	Ⓛ	既存	外壁:防火サイディングt=12
Ⓖ	既存	鉄部:塗装仕上げ		改修	水洗い、下地調整の上 複層塗材Eローラー塗り
	改修	下地調整の上、耐候性塗料(DP)塗り			
Ⓖ	既存	防水モルタル塗り			
	改修	水洗い、下地調整の上 ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)			

参考数量書

§ 工事名称 福山市立西幼稚園園舎・西放課後児童クラブ教室棟外壁改修工事

§ 工事場所 福山市西町一丁目 1 4 番 1 7 号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立西幼稚園園舎・西放課後児童クラブ教室棟外壁改修工事

工事場所 福山市西町一丁目 1 4 番 1 7 号

防水改修、外壁改修、塗装改修

対象建物 西幼稚園園舎（南棟校舎）
鉄筋コンクリート造 3階建
延べ面積 1, 2 8 3 m²

西放課後児童クラブ教室棟（中棟校舎）
鉄筋コンクリート造 2階建
延べ面積 4 7 4 m²

名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

[illegible]

福 山 市

西幼稚園園舎（南棟校舎）					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	アスベスト除去工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	樋改修工事	1	式		
外壁改修工事	その他工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

西放課後児童クラブ教室棟（中棟校舎）					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	アスベスト除去工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	樋改修工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

西幼稚園園舎（南棟校舎）		仮設工事		直接仮設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
養生(外壁改修)		326	m ²			
開口養生	割り増し	351	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		326	m ²			
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	731	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	731	m ²			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	W600 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 10m未満 180日	504	m ²			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 20m未満 180日	863	m ²			
くさび緊結式足場	180日 底部 ブラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	171	m			
くさび緊結式足場	180日 屋上底部 ブラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	120	m			
開放廊下屋根上部 足場補強	材工共	1	式			
安全手すり (手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	155	m			
外部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 180日 開放廊下部 棚足場 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	138	m ²			
外部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 180日 バルコニー部 棚足場 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	93	m ²			
移動足場 (ローリングタワー)	W=1.5m 1段 期間1ヶ月	1	台			
養生シート張り	防災Ⅰ類 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	1,367	m ²			
金網式養生柵	掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	293	m ²			
出入口安全対策	コンパネ貼り養生(3方) W3600×H3600程度	7	か所			
計						

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市

西放課後児童クラブ教室棟（中棟校舎） 仮設工事				直接仮設		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
養生(外壁改修)		130	m ²			
開口養生	割り増し	152	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		130	m ²			
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	336	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	336	m ²			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	W600 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 10m未満 180日	40.1	m ²			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 10m未満 180日	410	m ²			
くさび緊結式足場	180日 屋上底部 プラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	66.7	m			
安全手すり (手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	65	m			
外部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 180日 開放廊下部 棚足場 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	16	m ²			
外部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 180日 バルコニー部 棚足場 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	42.8	m ²			
移動足場 (ローリングタワー)	W=1.5m 1段 期間1ヶ月	1	台			
養生シート張り	防災Ⅰ類 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	450	m ²			
金網式養生枠	掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	117	m ²			
出入口安全対策	コンパネ貼り養生(3方) W3600×H3600程度	4	か所			
仮設通路撤去	集積共	1	式			
計						

福 山 市

福 山 市

福 山 市

西放課後児童クラブ教室棟（中棟校舎） 外壁改修工事				防水改修工事		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
水洗浄	防水改修 水洗い 加圧力15MPa程度(150～200kg/cm2)	428	m ²			
改修用ルーフトレ (トーム型)	75φ 縦型 材工共	11	か所			
エアコン室外機養生	配管架台取外し・再取付含む	1	式			
ケレン・清掃	防水面 ケレン・清掃	25.6	m ²			
下地調整 改修仕様 (塗膜防水)	下地処理・クラック処理	25.6	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 立上 小庇・狭陰部含む	25.6	m ²			
端部金物撤去		1	式			
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共	92	m ²			
ケレン・清掃	防水面 ケレン・清掃	92	m ²			
下地調整 改修仕様 (シート防水)	ボリマーセメントペースト	92	m ²			
合成高分子系ルーフ シートの防水 (S-F2)	接着工法(S-F2) t2.0 材工共	92	m ²			
合成高分子系ルーフ シートの防水 (S-M2)	機械的固定工法(S-M2) t1.5 材工共	310	m ²			
防水押えアルミアンク (材工共)	L-45*60*1.5 ジョイント、ビス含む シーリング共	71.4	m			
防水押えアルミアンク (材工共)	L-10*30*1.5 ジョイント、ビス含む シーリング共	11.3	m			
SUS脱気筒	材工共	3	か所			
EXP. J 取替	材工共 撤去共	1	か所			
シーリング	変成シリコン(2成分形)MS-2 15×10 建具周囲	303	m			
計						

福 山 市

福 山 市

福 山 市

福 山 市